

文学館だより

令和元年12月1日
若山牧水記念文学館
TEL 0982-68-9511
文 貴 日 高

寄る年の年ごとにねがふわがねがひ心おちゐて静かなれかし

大正10年の暮れ、年賀状に書いた歌の中の一首。牧水の心の澄んだ願いが深く感じられる作である。
『山桜の歌』収録

第9回 青の國若山牧水短歌大会 大賞決まる

【大賞】 岸本恵美（大分県大分市） 自転車のかごに世界の産声を満たして走る新聞少年

応募総数3,643首の中からみごと大賞に輝きました。おめでとうございます。
先日、宮崎市で開催された「第72回新聞大会 宮崎」の中でも紹介されました。

以下、各部門の最優秀賞作品をお知らせします。

【一般・自由題の部】 金澤 諒和（大分県大分市） 梅雨晴れの空を見上げて子どもらは「おかえりなさい」と太陽に言ふ

【一般・題詠「歩」の部】 金子 歩美（群馬県東吾妻町） 反対のルートを選び頂上で父母は出会った その山歩く

【小学生の部】 門田 藍子（新富町立富田小学校 3年） 姉ちゃんも食べるといいなこのピーマン宮崎を出て東京へ行く

【中学生の部】 遊亀 生琉（新富町立富田中学校 2年） 女神像微笑んでいないなぜだろうなぜなら今は自由ではない

【高校生の部】 橋本 怜（宮崎県立高千穂高等学校 2年） 命とはどの言葉よりむなしくてある日突然重さに気づく

牧水の母校、坪谷小学校の入賞作は・・・

佳作 みみずはねかみさまみたいにえらいんだつちをきれいにしてくださるよ 山床 拓真 2年

拓真さんは2年連続の入賞です。

入賞作品は当文学館ホームページに掲載していますのでご参照ください。

表彰式のお知らせ

日時：令和元年12月22日（日） 13:00から

場所：日向市中央公民館

どなたでもご来場いただけます。入場無料です。

部 門	応募数
一般の部（自由題）	524 首
一般の部（題詠「歩」）	503 首
小学生の部	637 首
中学生の部	1,269 首
高校生の部	710 首
計	3,643 首

第7回 マスターズ短歌甲子園

表彰式終了後14:30からマスターズ短歌甲子園を開催します。出場4チームのうち2チームが初出場です。3人でチームを組み、自作短歌を披露します。

高校生の短歌甲子園と同じく、俵 万智氏、大口玲子氏、笹 公人氏が審査員を務めます。出場者のみなさんの勇姿と一緒に拍手をおくりませんか。入場無料です。多くの方にご来場いただき、会場を盛り上げていただきたいと思います。お待ちしております。

榎倉香邨（えのくらこうそん）氏寄贈作品展 開催

牧水のうたを書で表現することをライフワークとしている現代最高峰のかな書道家、榎倉香邨氏。今年1月には牧水没後90年を記念して県立美術館において個展が開催され（『文学館だより』1～2月号掲載）、個展終了後には出展作品54点中19点を日向市に寄贈されました。

今回、その作品がずらり文学館に並びます。県立美術館に足を運ばれた方はもう一度、ご覧いただけます。時を超えて、牧水と出会い、生まれた榎倉氏の作品をどうぞご鑑賞ください。

榎倉香邨氏寄贈作品展

榎倉香邨の書 ー牧水とかくー

期 間 令和元年12月 1日（日）～ 令和2年1月19日（日）
休館 月曜日（※1月13日は開館）、12月29日～1月3日

場 所 若山牧水記念文学館 企画展示室

入館料 高校生以上 310円 小中学生 100円

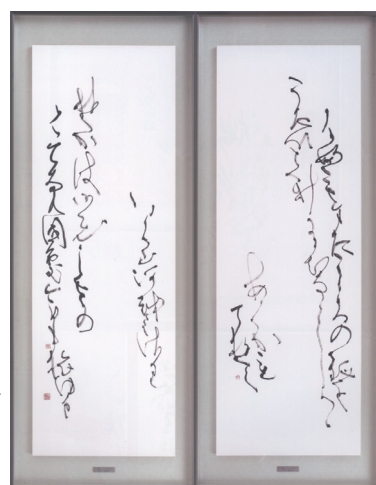
母恨夜母飲
のみのつむな
く罵りの色う叱り
らりしはす叱り
もとにて暗き部
にひと喋れ屋
つのみをの
のたる
歯もなき



【母をうたう】

行かば寂しさの
はてなむ国ぞ今日も旅ゆく
幾山河越えさり

うけふもまたこころの鉦を
鳴しうら鳴しつづ
あぐがれ
て行く



【旅】

坪谷小学校 牧水ヶ丘祭り（12月1日開催）に際して

坪谷小学校牧水ヶ丘祭りは、今年で34回目を迎えました。
第一部『つぼやっ子発表会』では、3～4年生が牧水先生について調べ、発表します。
第二部『牧水ヶ丘祭り』では、自作短歌を発表します。
第三部は、牧水ヶ丘に場所を移して『歌碑祭』が行われます。

牧水ヶ丘祭りは牧水生誕100年を記念して、坪谷小学校牧水ヶ丘に歌碑が建立されたことに始まりました。『町報とうごう（昭和60年11月号）』には「盛大に牧水生誕百年祭」として数々の行事が掲載され、坪谷小学校の歌碑除幕式の様子も紹介されていました。

また、『若山牧水歌碑インデックス（改訂版）』には、「除幕式当日、篁子の詠める」として、

学童ら先輩牧水の歌唱ふ坪谷小学校の歌碑の除幕に（篁子）

を含む4首を、牧水先生のお孫さんである榎本篁子（えのもとむらこ）さんが詠んでいらっしゃいます。

この伝統がずっと続きますように・・・



町報とうごう
昭和60年11月号

お礼

今年一年、文学館だよりをご愛読いただき、ありがとうございました。今年の文学館だよりはいかがだったでしょうか。これからも牧水生誕の地より新たな情報をお伝えしていきたいと思っています。また、牧水先生に関するニュースがありましたら、どうぞお寄せください。年末は28日（土）まで開館しております。